

チャレンジ！！オープンガバナンス 2017 市民／学生応募用紙

地域課題タイトル (注1)	No.	タイトル	自治体名
	- (事務局用)	室蘭に新たな観光客を呼び込むためのアイデア	室蘭市
アイデア名 (注1) (公開)	いぶりジオ4DX		

(注1) 地域課題タイトルは、COG2017 サイトの中に記載してある応募自治体の地域課題名を記入してください。

(注2) アイデア名は各チームで独自にアイデアにふさわしい名前を付けてください。

1. 応募者情報

チーム名 (公開)	うずらのたまご		
チーム属性 (公開)	<input type="checkbox"/> 1. 市民によるチーム	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 学生によるチーム	<input type="checkbox"/> 3. 市民、学生の混成によるチーム
メンバー数 (公開)	2 名		
代表者情報	氏名 (公開)	榎木貴行	

(注意書き) ※ 必ず応募前にご一読ください。

<応募の際のファイル名と送付先>

1. 応募の際は、ファイル名を COG2017_応募用紙_具体的チーム名_該当自治体名にして、以下まで送付してください。東京大学公共政策大学院の COG2017 サイトにある応募受付欄からもアクセスできます。 admin_padit_cog2017@pp.u-tokyo.ac.jp

<応募内容の公開>

2. アイデア名、チーム名、チーム属性、チームメンバー数、代表者氏名、「アイデアの説明」は公開されます。
3. 公開条件について：
「アイデアの説明」でご記入いただく内容は、クリエイティブ・コモンズの CC BY (表示) 4.0 国際ライセンスで、公開します。ただし、申請者からの要請がある場合には、CC BY-NC (表示—非営利) 4.0 国際ライセンスで公開しますので、申請の際にその旨をお知らせください。いずれの場合もクレジットの付与対象は応募したチームの名称とします。
(具体的なライセンスの条件につきましては、<https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/legalcode.ja>、および、<https://creativecommons.org/licenses/by-nc/4.0/legalcode.ja> をご参照ください。また、クリエイティブ・コモンズの解説もあります。<https://creativecommons.jp/licenses/>)
4. 上記の公開は、内容を確認した上で行います。(例えば公序良俗に違反するもの、剽窃があるものなどは公表いたしません)
5. この応募内容のうち、「審査項目自己評価」は、非公開です。なお、内容に優れ今後の参考になりうると判断したものは、公開審査後アドバイスの段階で相談の上公開することがあり得ます。

<知的所有権等の取扱い>

6. 「アイデアの説明」中に、応募したチームで作成・撮影したものではない文章、写真、図画等を使用する場合、その知的所有権を侵害していないことを確認してください。具体的には、法令に従った引用をするか、や知的所有権者の許諾を取得し、その旨を注として記載してください。「審査項目自己評価」中も同様をお願いします。
7. 「アイデアの説明」中に、人が写りこんでいる写真を使用している場合、使用している写真に写りこんでいる人の肖像権またはプライバシーを侵害していないことを確認してください。

<チームメンバー名簿>

チームメンバーに関する情報を最終ページに記載して提出してください。(2. の扱いによる代表者氏名を除き、他のメンバーに関する情報は本人の同意があるものを除き COG 事務局からは非公開です。詳細は最終ページをご覧ください。)

2. アイデアの説明（公開）

（1）アイデアの内容、（2）アイデアの論拠、（3）実現までの流れ、の三項目に分けて記入してください。

（1）アイデアの内容（公開）

アイデアは、だれが、何を、どこで、いつ、どのように、する公共サービス（活動）なのか、これらの要素を入れて**内容そのもの**をわかりやすく示してください。**1 ページ以内**でご記入ください。（必要に応じて図表を入れても構いません）

胆振地区に興味を持つ外国人を増やすための列車内エンターテインメントとして「いぶりジオ 4 DX」を提案する。JR の列車の内装を改築して、天井にスクリーンを配置する。座席を倒してもらい、4DX を用いた体験型映像を移動中に見てもらう。

4 DX とは、「体感型（4D）」を演出するための最新劇場上映システムのことだ。座席が作品中のシーンと完璧にリンクし、前後上下左右へ稼働する。また、風、水（ミスト）、香り、煙など、各種演出も体感できるアトラクション効果も搭載されている。今回は、座席の稼働は列車の幅等の都合上実装できないので、煙などの各種演出のみを実装する。

区間は、長万部—洞爺—東室蘭—登別—札幌で、実際に列車が走っている位置と映像で紹介する地域が同じになるように映像を放映する。

今回は外国人観光客をターゲットにするので、多言語に対応した映像にする。事前の調べで胆振地区の外国人観光客は中国人、韓国人、台湾人が多かったため、中国語、韓国語、台湾語、英語の 4 つの言語に対応させる予定だ。

また、チケットを事前予約できるシステムをつくり、駅、車内でもチケット販売をすることで、興味を持った瞬間に乗車できるようにする。通常の列車に特別列車を連結させることを考えており、そうすることで特別列車に空席があったときに、通常列車にアナウンスして、列車に乗ってから特別列車を知った人も、その場でチケットを買って 4 DX を見ることができる。

映像の内容を説明する。長万部—洞爺間は、昭和金山、有珠山の噴火や地震の体験や歴史や地形の成り立ちを紹介する。洞爺—登別間は、登別温泉、地獄谷の歴史や地形の成り立ちについて紹介する。また、登別—札幌間では室蘭の工場夜景の映像や工場の成り立ちについて紹介する。



また、スマホで持って帰れる博物館と題して、胆振地域の火山、歴史、食べ物の紹介するデータを配布する。実際に持ち帰ってもらうことで、胆振を思い出すきっかけを作り、リピーターになってもらうことを狙う。

(2) アイデアの論拠（公開）

アイデアの論拠（なぜこのアイデアなのかの理由付け）について、それをサポートするデータ（統計類の数値データやアンケート・インタビューなどの定性データ）や証拠（資料や計画、既存の施策など）（以下：総称して「データ類」といいます）などを含めつつ、2 ページ以内でご記入ください。データ類は出所を明らかにしてください。

胆振地域にある洞爺湖有珠山は、日本で初めて世界ジオパークに認定されているため、有名な火山である。

ジオパークとは、地域の地史や地質現象がよくわかる地質遺産と、考古学的・生態学的あるいは文化的な価値をもあわせもつ、と評価された地域のことだ。

有珠山のほかにも昭和金山など、胆振地域には有名な火山が多数存在する。このような胆振地域で有名な火山を 4 DX を通して知ってもらい、胆振地域に興味を持ってもらうことが狙いだ。

また、火山の地下のマグマを熱源とする火山性温泉もあり、温泉街として有名な登別に行く外国人観光客が多い。

下に登別市の訪日外国人宿泊数の表を示す。外国人の宿泊人数の多い国を抜粋した。

登別市の訪日外国人宿泊延べ数年度別推移

（単位：人）

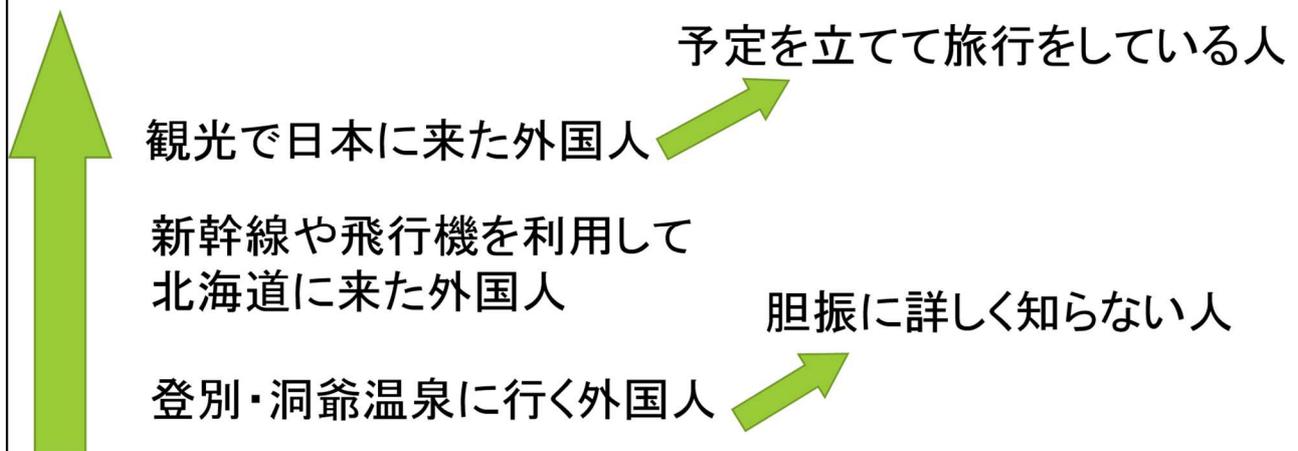
年度	中国	韓国	台湾	香港	シンガポール	マレーシア	タイ
26	50125	56067	172584	34962	16139	12468	17451
27	79769	75784	202358	43962	14505	13147	14733
28	86227	98717	174524	40899	14809	19833	12230

出典：http://www.city.noboribetsu.lg.jp/docs/2013042600105/file_contents/H28irikomi.pdf

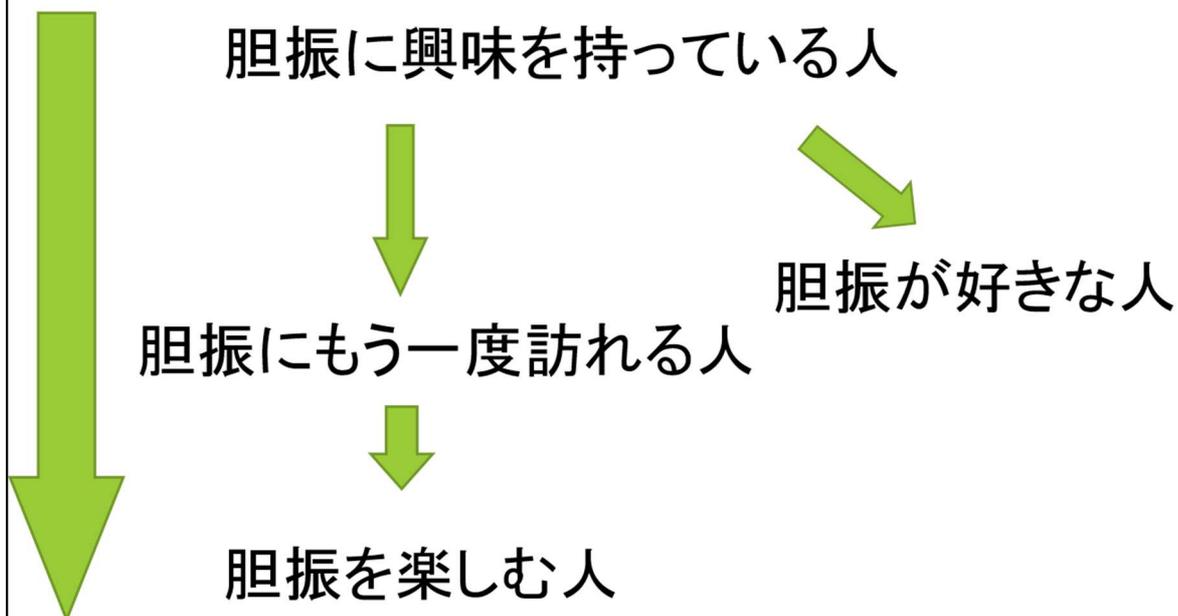
登別市に来る観光客はほとんどがアジアの国々で、その中でも特に中国、韓国、台湾人が多い。そのため、中国語、韓国語、台湾語、英語の 4 つの言語に対応させることにした。

4 DX は映画館で用いられている最新劇場上映システムで、それを目玉にしている映画館も多い。映画館で流行っているシステムを列車に持ってくるというインパクトは大きい。

私たちは、ターゲットと狙いの範囲を決めるために機能展開をした。機能展開は、上方展開と下方展開に分かれている。上方展開は、最初に想定していたターゲットの範囲を広げていく。下の図で具体的に説明すると、登別・洞爺温泉に行く外国人は新幹線や飛行機を利用して北海道に来たはずであり、観光で日本に来た外国人かも知れない。下方展開は、逆に最初に想定していた目的の範囲を狭めていく。下の図で具体的に説明すると、胆振に興味を持っている人が、胆振にもう一度訪れる人になるかもしれない。さらにもう一度訪れて楽しむ人になるかもしれない。



地形に関する博物館



(3) アイデア実現までの流れ（公開）

アイデアを**実現する主体**、アイデアの**実現に必要な資源（ヒト、モノ、カネ）**の大ききな規模とその現実的な調達方法（制約がある場合にはその解決策を含む）、アイデアの**実現にいたるプロセスとマイルストーン**等、アイデア実現までの大ききな流れについて、**2 ページ以内**でご記入ください。（必要に応じて図表を入れても構いません）

ほくほく線ゆめぞらという既存の列車に車内の天井に投影するシステムが使われているので、それを参考にするここと、私たちのアイデアも実現することが可能だと考えられる。

チケットの予約システムも、既に日本で列車の予約はできるので、そのシステムを多言語対応化すれば比較的簡単に実装できるはずだ。

既存の4DXを参考にするここと、列車内にも実装できるであろう。

(2) の機能展開をふまえてコンポーネントデザインを作成した。太枠の四角が全体としてのシステムで、その中の小さい四角がサブシステムだ。サブシステムで少しずつターゲットを変化させて全体のシステムの最終目的にターゲットを変化させるという流れだ。四角の中にある円柱はデータベースだ。

登別・洞爺温泉に行く外国人 ↓

予約、駅、車内でのチケット販売

↓ 特別車両に乗る人

4DXを用いた体験型映像

↓ 胆振地域に興味がある人

博物館
データ

データを持って帰ることができる

↓ 胆振にもう一度訪れる人

以下のようなマイルストーンを想定する。下のようにデータ収集、列車内の改装、映像の作成、持ち帰るデータの作成、予約システム、多言語対応化の6つの項目に分けた。おおまかな予想のため、実際に実行に移すと、多少の日程の違いが出てくると思われる。

期間	60日	120日	180日	240日	300日	360日
データ収集	→					
列車内の改装	→					
映像の作成		→				
持ち帰るデータ作成		→				
予約システム					→	
多言語対応化				→		